

- 問1 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 | 2. 唐が周辺諸国を征服する強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 | 3. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 | 4. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 古墳時代の東アジアにおける対外関係と文化の流入について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。 | 2. この時期の日本は大陸から完全に孤立しており、大陸の文化が流入し始めたのは平安時代以降である。 | 3. 中国大陸の南朝とのみ交流し、朝鮮半島の高句麗や新羅とは敵対関係にあったため、半島由来の文物は存在しない。 | 4. 大陸との交流は小規模な民間貿易に限られており、国家間の正式な外交や技術導入は行われていなかった。 |
|---|---|---|---|
- 問3 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|----------|------|
| 1. 唐 | 2. 隋 | 3. 中国の南朝 | 4. 漢 |
|------|------|----------|------|
- 問4 古代、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 渡来人 | 2. 遣隋使 | 3. 防人 | 4. 御家人 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問5 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 遣隋使 | 2. 防人 | 3. 渡来人 | 4. 地頭 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問6 日本列島の主要な地域を、九州北部、大阪付近、関東の内陸部、四国南東部の4地点に分けたとき、日本最大の前方後円墳である大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が位置する場所として最も適切なものはどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 関東の内陸部 | 2. 大阪付近 | 3. 四国南東部 | 4. 九州北部 |
|-----------|---------|----------|---------|
- 問7 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた | 2. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた | 3. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた | 4. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた |
|---|---|--|--|
- 問8 大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）のような巨大な古墳が築かれた背景や、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 墳丘の周囲には三重の堀が巡らされており、王の強大な権力を誇示する目的があったと考えられる。 | 2. 死者を弔うために、土で人や動物の形を作って焼き上げた土偶が墳丘の周囲に並べられた。 | 3. 古墳の表面には、仏教の影響を受けた装飾として、寺院から伝わった瓦が並べられていた。 | 4. 古墳の形状は、日本独自の形式である円墳が採用され、大陸の影響を一切排除して造られた。 |
|--|--|--|---|
- 問9 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。 | 2. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。 | 3. すべての直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。 | 4. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。 |
|--|---|---|--|
- 問10 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌（きんぞうがん）によってある人物の名前が刻まれていました。この鉄剣に記されていた大王の名として正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|--------|
| 1. 中大兄皇子 | 2. 聖徳太子 | 3. ワカタケル大王 | 4. 卑弥呼 |
|----------|---------|------------|--------|
- 問11 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。 | 2. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。 | 3. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。 | 4. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。 |
|---|---|--|--|
- 問12 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した | 2. 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした | 3. 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした | 4. 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた |
|---|--|--|--|
- 問13 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 渡来人 | 3. 防人 | 4. 御家人 |
|--------|--------|-------|--------|